

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 4年 6月 14日

大分県知事 殿



提出者

住 所 大分県日田市大字友田3725番地

氏 名 光岡生コン株式会社

代表取締役 川浪龍哉

電話番号 0973-22-6145

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	光岡生コン株式会社
事業場の所在地	大分県日田市大字友田3725番地
計画期間	2022年4月1日から 2023年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	1,000万円(資本金)
③ 従業員数	14名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	コンクリートくず 運搬業者→再生処理業者へ委託(破碎し再生骨材として再資源化)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
公害防止統括者 代表取締役			
公害防止管理者 工場長			
廃棄物の管理責任者 委託契約等の締結 産業廃棄物管理票交付			
試験課 産業廃棄物管理票管理			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	排出量	1869.78 t	t
	(これまでに実施した取組) ① 生コンクリート納入現場の現場代理人との連絡を密にし、戻りコンの抑制に努める。 ② 土場内の廃棄場を整備し、廃棄物管理の効率化を図る。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	排出量	1682.80 t	t
	(今後実施する予定の取組) コンクリートくずの発生の主な原因は戻りコンなので、今後も納入現場との連絡を密にして戻りコンの抑制に努める。 発注時の最小単位が0.5m ³ 以上で0.25m ³ 刻みなので少量発注を受け付けることで戻りコンを最小限に減らすことも検討中		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 整備された廃棄場にコンクリートくずの状態毎に集積して廃棄作業の効率化に取り組んでいる。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状廃棄作業を行いつつ、より効率的な方法を模索していく。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2021 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	1869.78 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1869.78 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 廃棄場の整備と廃棄の効率化を行う。 発注現場との連絡を密にして戻りコンの抑制を行う。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	全処理委託量	1682.80 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1682.80 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>引き続き、現場との連絡を密に行い戻りコンの抑制に努める。 発注時の最小単位が0.5m³以上で0.25m³刻みなので少量発注を受け付けることで戻りコンを最小限に減らすことも検討中</p>		
※事務処理欄			